

5種混合予防接種を受ける方へ

このワクチンは、4種混合ワクチン（DPT-IPV：沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合）にHibワクチンを混合したワクチンです。

1 予防する病気

(1) 百日せき

百日せき菌の飛沫で感染します。連続したせきが長く続き、急に息を吸い込むので笛を吹くような音が出るのが特徴です。

(2) ジフテリア

のどについてのジフテリア菌が増えて、高熱（38度以上）、のどの痛み、犬の遠吠えのようなせきが出るのが特徴です。重症化すると神経麻痺や心筋症などを引き起こし、亡くなることがあります。

(3) 破傷風

土の中にひそんでいた破傷風菌が傷口等から体に侵入して感染します。菌の出す毒素により、神経麻痺、筋肉の激しいけいれんや呼吸困難などを起こし、亡くなることがあります。顔の筋肉が硬直して引きつったような表情になり、口が開かなくなることが特徴です。

(4) ポリオ（急性灰白髄炎）

ヒトから排泄された便中のウイルスが口から入り、のど又は腸から吸収されて感染します。四肢に弛緩性麻痺を起こす病気で、亡くなることがあります。

(5) Hib（ヒブ）

せきやくしゃみなど飛沫で感染します。感染してもそのほとんどは症状を起こしませんが、一部、細菌性髄膜炎や心筋炎、敗血症などの重篤な疾患を引き起こし、亡くなることがあります。

1 予 診

予防接種をうける際には、こどもの健康状態をくわしく医師に話してください。

2 予診票

予診票は、保護者が責任をもって記入し、母子手帳・健康保険証とともに医療機関の窓口に提出してください。

3 次のいずれかに該当するときは、接種をうけられません。

①明らかに発熱のある人（37.5℃を超える人）

②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人

③その日に受ける予防接種の接種液の成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある人

④その他、医師が不適當な状態と判断した場合

4 予防接種を受けた後の一般的注意事項

①予防接種を受けたあと30分間は、その場で様子を見てください。急な副反応はこの間に起こることがあります。

- ②接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- ④接種した日は、いつも通りの生活をしましょう。はげしい運動はさけましょう。
- ⑤接種後、高熱・けいれん等の症状があらわれた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。また、医師の診察を受けた場合には、そのことを町健康福祉課（☎57-4171）に連絡してください。

5 5種混合ワクチンの副反応

主なものは接種部位の紅斑、腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応及び発熱です。その他気分変化、下痢、鼻水、嘔吐、食欲減退などがあります。重大な副反応として、アナフィラキシー様症状、血小板減少性紫斑病、脳症、けいれんがあらわれることがあります。

6 予防接種被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。（予防接種と健康被害との因果関係を国の審査会にて審議し予防接種によるものと認定された場合）

7 対象年齢及び接種回数

生後2月から90月（7歳6か月）未満の方
接種回数 4回（初回接種3回 追加接種1回）

8 その他

5種混合予防接種は、全部で4回と回数が多い予防接種ですが、「初回接種」をするときの20日～56日の接種間隔は守るようにしましょう。

問い合わせ先
野木町健康福祉課健康増進係
TEL:57-4157